

4年ぶりにカナダに生徒2人を派遣 広尾高校

2023/09/07 8:15



カナダ・ブルックス市に派遣される（右から）高桑さん、上野さん、粒針教諭

【広尾】広尾高校（柴山真純校長、87人）は今月下旬、国際交流を続けるカナダ・アルバータ州ブルックス市に、1年生の上野想生さん（15）と高桑航太さん（15）を派遣する。過去3年は新型コロナウイルスの流行で中止しており、4年ぶりに交流活動を再開する。2人は「初めての海外、いろいろなことを体験したい」と張り切っている。

ブルックス市はアルバータ州南東部に位置する人口約1万5000人の都市。世界遺産の州立恐竜公園がある。広尾高校と同市のコンポジット高校は1996年から生徒の相互派遣・受入を続けている。

上野さん、高桑さんは9月23日～10月2日の日程でカナダに渡り、現地の一般家庭でホームステイしながら高校の授業を体験。公共施設や自然公園などをめぐり、異文化への理解を深める。

中学生のころから外国に興味があったという上野さんは「英語でのコミュニケーションに挑戦し、住

民と交流を深めたい。カナダの大自然も楽しみ」と笑顔。高桑さんは「日本とは違う文化を体験し、よい思い出にしたい。（海外派遣の経験は）今後の進路に生かすつもり」と語る。

引率する粒針崇史教諭（30）は「文化、言語、人種の違いに触れて、さまざまな刺激を受けてほしい。帰国してから自らの生活に役立つはず」と話している。

来年4月中旬にはコンポジット高校の生徒が来町し、広尾高校で受け入れる。（能勢雄太郎）